エコアクション21
環境活動レポート

発行:　　2014年11月5日

活動期間:2013年8月～2014年7月

株式会社 アルテックス

目 次

1．組織の概要 1

2．対象範囲および対象期間 2

環境管理実施体制表

3．環境方針 3

4．環境目標とその実績 4

４－１．環境目標
４－２．実績と評価

5．主要な環境活動計画および取組状況 6

５－１．省エネルギー対策の推進
５－２．一般廃棄物削減と分別による資源化の推進
５－３．資源の効率的使用
５－４．水道水の使用量の削減
５－５．環境に配慮した製品開発の推進
５－６．グリーン購入の推進
５－７．社会貢献活動
５－８．緊急事態の対策

6．環境関連法規への違反、訴訟等の有無 12

7．代表者による全体評価と見直しの結果 13

1. 組織の概要

・事業所名　株式会社 アルテックス

・代表者氏名　金澤 哲也

・所在地　神奈川県相模原市南区麻溝台 8-22-1

・担当者氏名，連絡先　環境管理責任者：中谷 深雪
担当者：根本 好之，木本 春子，山田 知侑，村尾 睦
TEL：042-742-2580　FAX：042-742-2616
E-Mail：info@n-artics.co.jp
URL：http://www.n-artics.co.jp

・事業内容　映像関連機器の開発・設計・製造および販売

・年間出荷台数

	2011 年度	2012 年度	2013 年度
台数	4,101	4,386	4,804

・従業員数　15 名

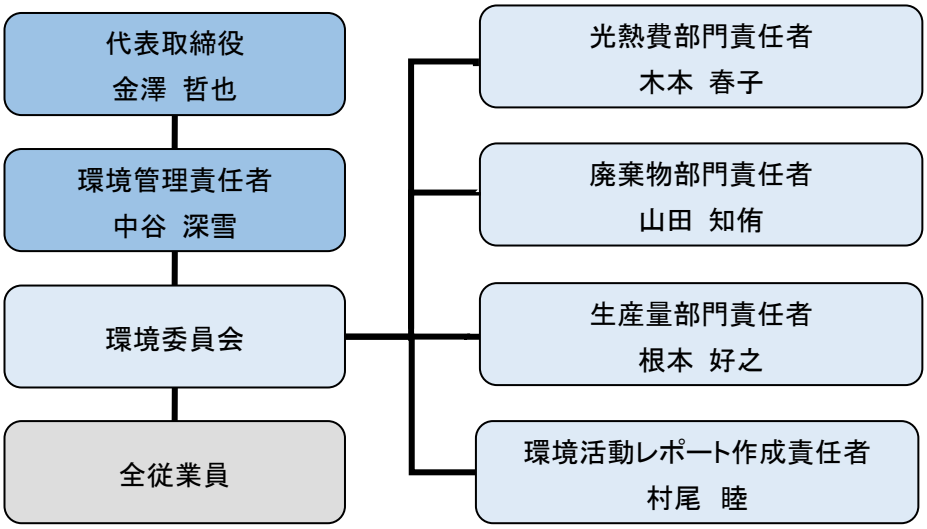
・床面積　470 m^2

2. 対象範囲および対象期間

対象範囲:　　全社

対象期間:　　2013 年 8 月 1 日～2014 年 7 月 31 日

環境管理実施体制表



役職	責任および権限
代表取締役	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の策定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的評価、見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	1. 環境経営システムの構築、実施、管理 2. 代表取締役への環境経営システムの実施状況報告 3. 諮問、推進機関である環境委員会の委員長として委員会の運営 4. 環境関連文書及び記録の作成・整理 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境活動取組みの総括
環境委員会	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境目標、環境活動計画書の原案作成 3. 環境活動の実績集計 4. 問題点の発見、是正、予防処置の実施 5. 従業員に対する教育訓練の実施 6. 緊急事態への対応 7. 環境活動レポートの作成、公開 8. 外部からの苦情・要望等受付、処理
光熱費部門責任者	1. 電気使用量の削減 2. 水使用量の削減 3. 自動車燃料の削減 4. 紙類使用量の削減
廃棄物部門責任者	1. 廃棄物削減
生産量部門責任者	1. 生産における無駄の削減 2. 環境配慮型製品の開発推進
環境活動レポート作成責任者	1. 環境活動レポートの作成
全従業員	1. 環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚する 2. 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動を推進する

Artics 株式会社 アルテックス

3. 環境方針

【当社の事業の特徴】

当社は主に画像処理関係などの電子機器を設計し、製造は当社協力工場にて委託生産し、製品を販売致しております。
当社はこれらの活動を通じて、地球環境の保全の為、エネルギーの削減、化学物質の排出の低減、及び有害物質の廃絶に継続的に取り組む必要があります。
当社は上記の環境負荷に対して、事業経営の重要課題として以下の事項を優先した事業活動を通じ、環境負荷の低減を図ります。

【理念及び基本方針】

1. 研究開発段階から生産・流通・廃棄まで一貫した資源の節減・環境に配慮します。
2. 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
3. 環境方針を、全ての役員・社員に周知徹底し、全員がこれを理解し実践できるよう
   教育・啓発活動を推進します。
4. 当社は、当社の事業活動に適用される環境法、及び当社が受入れを決めたその他
   要求事項を遵守します。

【取り組みテーマ】

1. 省エネルギーの推進
2. 一般廃棄物削減と分別による資源化の推進
3. 資源の効率的使用
4. 水道水の使用量の削減
5. 環境に配慮した製品開発の推進
6. グリーン購入の推進
7. 地域、社会貢献活動への積極的参加
8. 製品の市場クレーム数の低減

平成 25 年 9 月 26 日
株式会社 アルテックス
代表取締役 金澤哲也

4. 環境目標とその実績

4－1. 環境目標

目　　的　※1		単位	基準年 2009年度	目　標		
				2013年度 4%削減	2014年度 5%削減	2015年度 6%削減
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減	KWh	76,931	73,854	73,084	72,315
		kg-CO2　※2	32,157	30,871	30,549	30,228
	ガソリン使用量の削減	L	2079.7	1966.51	1975.72	1954.92
		kg-CO2	4,828	4,635	4,587	4,539
	二酸化炭素排出量合計の削減	kg-CO2	36,985	35,506	35,136	34,767
	社用車の燃費の向上　※3	Km/ℓ	16.03	16.19	16.35	16.51
廃棄物	一般廃棄物の削減　※4	kg	1029.84	1019.54	1009.25	998.95
	一般廃棄物のうち資源物の割合	%		51	51.5	52
排水量	水道水の使用量の削減	m^3	154	147.8	146.3	144.8
グリーン購入			文房具類は環境マーク付きを極力選択し購入する	各月購入数に対して31%目標	各月購入数に対して31.5%目標	各月購入数に対して32%目標
製品及びサービスに関する項目			環境配慮製品を毎年1件以上開発する			
市場クレーム数の低減　※5			市場クレーム数の記録をとる			
地域社会貢献活動への積極的参加			ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙｷｬｯﾌﾟ、書き損じﾊｶﾞｷ、使い残しﾊｶﾞｷ、ﾍﾞﾙﾏｰｸ、使用済みｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞの回収、地域の清掃活動等への参加			

※1　弊社では PRTR 法で規定する化学物質を使用していないので、化学物質の削減目標は設定していません。

※2　CO_2 の排出量は、「平成 20 年度電気事業者別排出係数の公表について」（平成 21 年 12 月 28 日環境省）の東京電力株式会社の排出係数 0.418（kg-CO_2/kWh）を使用しています。

※3　2013 年度より追加。未だ目標にする参考データがないので 2013 年 6 月,7 月の 2 ヶ月分の記録をとり、その平均を基準値とし、基準比 1%向上を 2013 年度の目標値とします。

※4　過去 3 年(2010 年～2012 年)の実績値平均を基準にし、基準比 1%削減を 2013 年度の目標値とします。

※5　不良率の低減項目を新たに追加し、2013 年度はデータ記録をとることから始めました。

４－２. 実績と評価

目　　的		単位	目　標	実績	評価
			2013年度	2013年度	
二酸化炭素排出量	電気使用量の削減	KWh	73,854	63,130	○
		kg-CO2	30,871	26,388	
	ガソリン使用量の削減	L	1996.51	1902.01	○
		kg-CO2	4,635	4,416	
	二酸化炭素排出量合計の削減	kg-CO2	35,506	30,804	○
	社用車の燃費の向上	Km/ℓ	16.19	16.16　※1	×
廃棄物	一般廃棄物の削減	kg	1019.54	1049.4　※2	×
	一般廃棄物のうち資源物の割合	%	51	59	○
排水量	水道水の使用量の削減	m^3	147.8	147	○
グリーン購入			各月購入数に対して31%目標	42.9%	○
製品及びサービスに関する項目			環境配慮製品を毎年1件以上開発する	1件	○

※1.　夏季２ヶ月分の実績値から目標を設定したので、適切な目標値が定められていなかったと思われます。
来年度は、約１年間の実績値より目標を再設定します。

※2.　年間排出量は前年度より大幅に削減できているので、再設定した目標値に少し無理があったと思われます。
年度毎の排出量の乱高下が激しく、3年毎の平均値で目標値を設定する事が難しいため、目標を前年度比に変更して、値を前年度比(-3%)に設定します。

5. 主要な環境活動計画および取組状況

5－1. 省エネルギーの推進

5－1－1. 活動計画

☑ 2Fおよび3Fフロアーの昼休み消灯

☑ 夜間・休日の便座電源 OFF

☑ 冷房は外気温 28℃にて ON/OFF

☑ 暖房は室温 20℃にて ON/OFF

☑ エコドライブの励行

便座の省エネ表示

温度計による室温管理

5－1－2. その他対策

☑ 2014.04　玄関，廊下，トイレの照明を LED に変更

5－1－3. 取組結果の実績

5－1－3－1. 電力

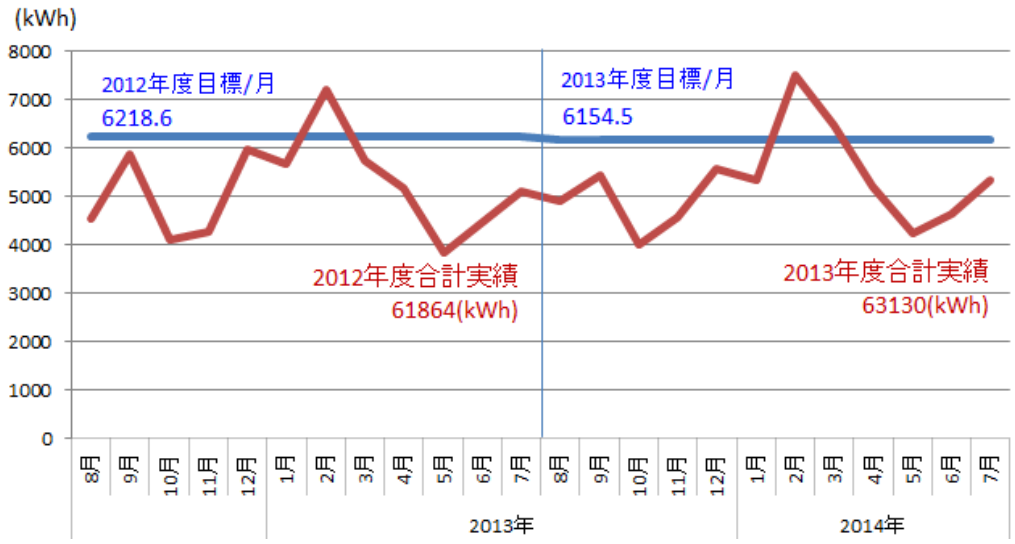
	目標	実績	数値評価
年間使用量(kWh)	73,854	63,130	○

使用量は、年間削減目標に達成しました。

前年度と比較すると、61,864→63,130 に増加してしまっています。

今年度の審査時に審査人より、たった一人の残業や休日出勤で電気使用量が増えることになるので、作業を分散させて平準化させることが理想とのアドバイスを受けたので、その点を念頭におきつつ、引き続き改善していきたいと思います。

使用量の推移



5－1．省エネルギーの推進（つづき）

5－1－3－2．ガソリン

	目標	実績	数値評価
使用量(L)	1,997	1,902	○
燃費(km/L)	16.19	16.16	×

使用量は、年間削減目標を達成しました。

前年度と比較すると、1478→1,902 に増加してしまっています。

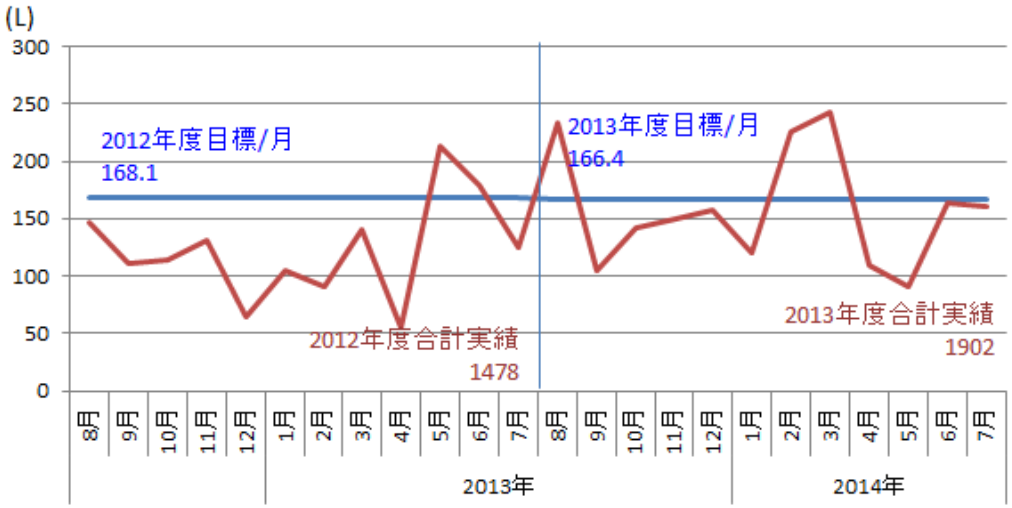
燃費は、年間向上目標をわずかに下回ってしまいました。

前年度の審査時、審査人より提案されて計測を始めました。

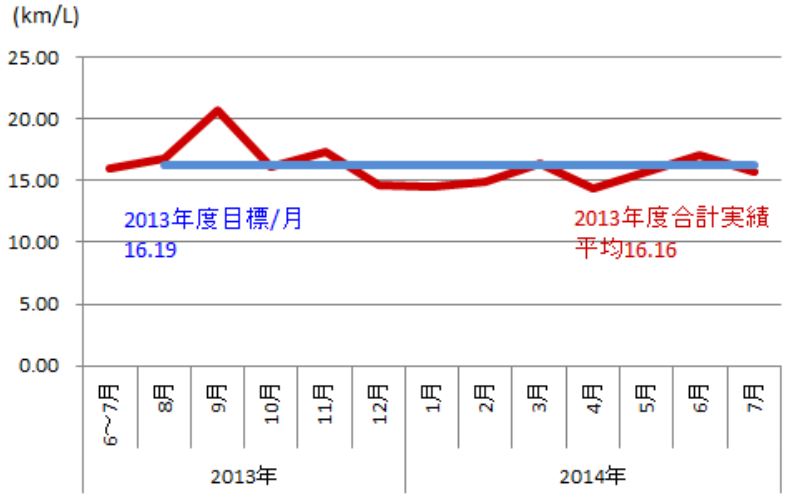
ただし目標については、前年度夏季 2 か月間だけの実績値より設定したので無意味な目標である可能性もあるので、来年度は、約 1 年間の実績値より目標を再設定します。

今年度の審査時には、気温が燃費に影響するので夏季/冬季それぞれに目標を設定し、車種や年式も全く違うことから、2 台の平均ではなくそれぞれに目標を設定することをアドバイスされました。

使用量の推移



燃費の推移



5－1－4．次年度の目標

会議室の蛍光灯を LED に変更する予定です。

社用車の燃費は、それぞれの車の燃費を測定して夏季/冬季ごとに目標を設定して管理する予定です。

5－2．一般廃棄物削減と分別による資源化の推進

5－2－1．活動計画

☑ 社内連絡のペーパーレス化に努める　　☑ 分別の徹底を呼びかける

5－2－2．その他環境美化および資源化活動

☑ 2014.07　年末外大掃除の実施、産業廃棄物を産廃リサイクル業者へ依頼

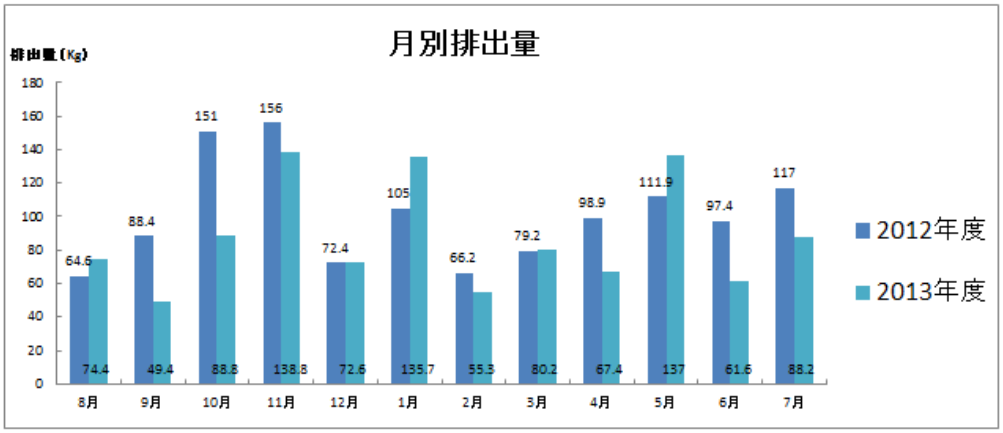
☑ 2014.07　2F，3F 全フロアーの床清掃、ワックスかけ

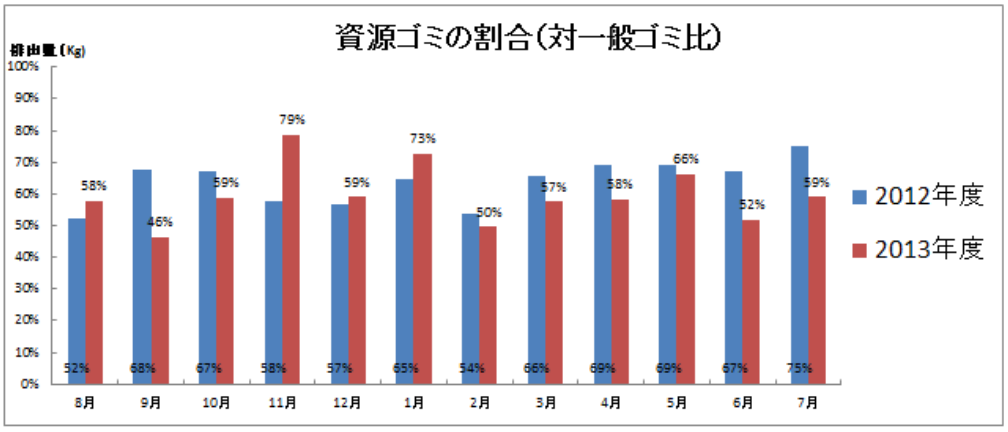
5－2－3．取組結果の実績

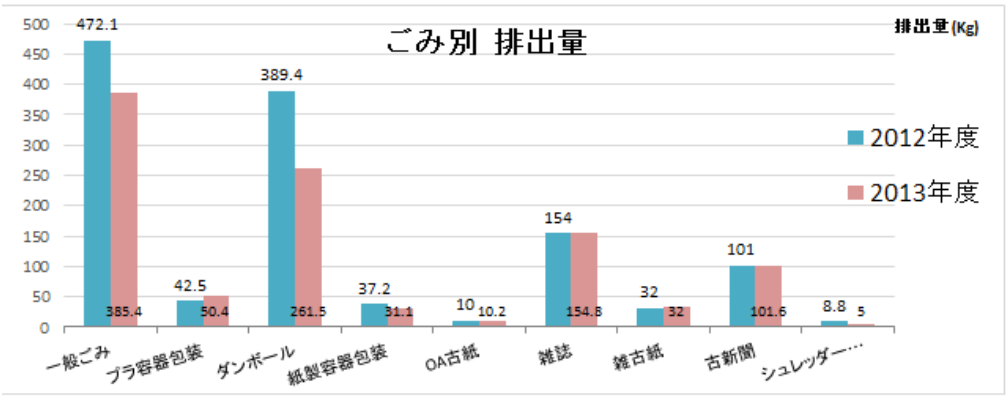
	目標	実績	数値評価
一般廃棄物排出量（Kg）	1019.5	1049.4	×
一般廃棄物のうち資源物の割合（%）	51	59	○

排出量は大幅に削減する事ができましたが、目標設定となる指標が不安定で、無理な目標設定になっていた為、目標を達成する事が難しくなりすぎてしまいました。

資源物の割合については、紙の分別はさらに細分化しました。(段ボール/紙製容器包装/OA古紙/雑誌/雑古紙/古新聞/シュレッダー処理紙/その他)これにより一般ごみからの資源の割合を増やすことができ、目標の達成に繋がったと思います。







5－2－4．次年度の目標

引き続き、リサイクルと分別、清掃を呼びかけていきたいと思います。

5－3. 資源の効率的使用

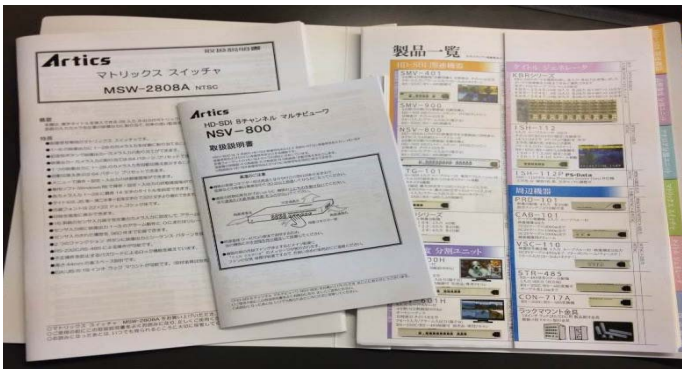
5－3－1. 活動計画	☑ 社内文書のペーパーレス化　　☑ 社内ネットワークの整備および強化

5－3－2. 取組結果の実績

	昨年度実績	今年度実績	数値評価
コピー用紙の使用量（kg）	420	487.2	×

この項目は目標を特に設定していないので、前年度の実績と比較しています。
前年と比較するとコピー用紙の使用量は増加してしまっています。売上高が増えたので製品に添付する取扱説明書が増えたことも一因と思われます。
コピー用紙の用途として枚数を多く使うものは、取扱説明書と営業部で客先に配布する製品カタログ類の印刷物です。

コピー用紙の主な用途



5－3－3. 次年度の目標	書類の内容に間違いがないかをよくチェックし、大量の無駄な印刷がないよう注意したいと思います。 取扱説明書は、可能なものはA4サイズからA5サイズに順次修正するようにしていく予定です。

5－4. 水道水の使用量の削減

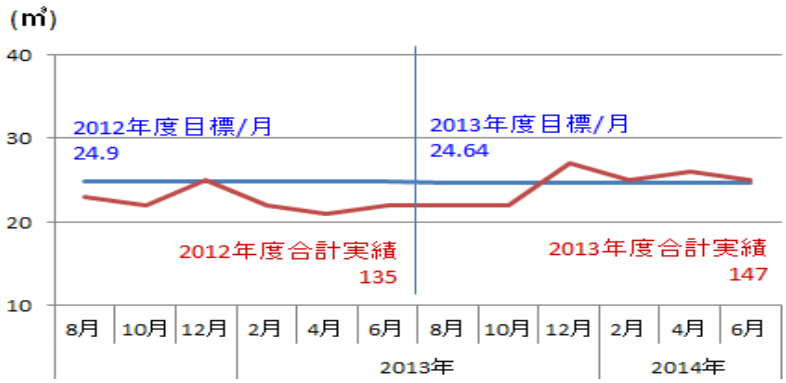
5－4－1. 活動計画	☑ 配管の定期点検　　☑ 節水を促す表示物の配置

5－4－2. 取組結果の実績

	目標	実績	数値評価
年間使用量（㎥）	147.8	147	○

使用量は年間削減目標に達成しました。前年度と比較すると、135→147 に増加してしまっています。
社員数が増加したことから、水道使用や水洗トイレ使用量が増えた可能性が考えられます。
審査人より、駐車場の掃除で広範囲に水を使用する場合は、最初から流さず、一度ゴミを箒で掃いてから流すことにより使用量を減らせるとアドバイスがありましたので、引き続き努力していきたいと思います。

使用量の推移



5－4－3. 次年度の目標	引き続き無理のない範囲で節水を促していきたいと思います。

5－5. 環境に配慮した製品開発の推進

5－5－1. 活動計画

☑ 省電力型部品を選択する ☑省電力製品を毎年 1 件以上開発する

☑ 既存製品より消費電力 5%削減した新規製品を開発する

☑ 市場クレーム件数の低減

5－5－2. 取組結果の実績

5－5－2－1. 省電力製品の開発

	従来同等機種	新機種	備考
機種型番	STG－100	STG－101	2014.07 完成,リリース
消費電力(W)	約12W	約12W	多機能型に改良

今期はぎりぎり7月に1機種開発を終えることができ、年間目標1件を達成しました。
市場のニーズに合わせ映像信号のハイレベル化が進み、HD 用のデバイスは消費電力が上がる傾向にあるため、今後ますます省電力設計は難しくなっていくと予想されます。

5－5－2－2. 市場クレーム数の低減

市場クレーム数	25 件

前年度の審査時、 審査人から不良品を出すと資源(労力，原材料など)のロスに繋がることから“不良率の低減”について提案されました。
工場を持たないので直接的な不良品は出ませんが、市場クレームによる不良品対応は実施しているので、今期より“市場クレーム件数の低減”の項目を作りました。
今年度はデータ採りから始めました。

5－5－3. 次年度の目標

省電力製品の開発は、省電力部品を積極的に使用するように設計開発者に促していきたいと思います。
市場クレーム数は、来年度は 1 件以上減らして 24 件以下を目標として取組む予定です。
技術部定例会議でクレーム有無を議題に掲げ引き続き件数をカウントしていきたいと思います。

5－6. グリーン購入の推進

5－6－1. 活動計画

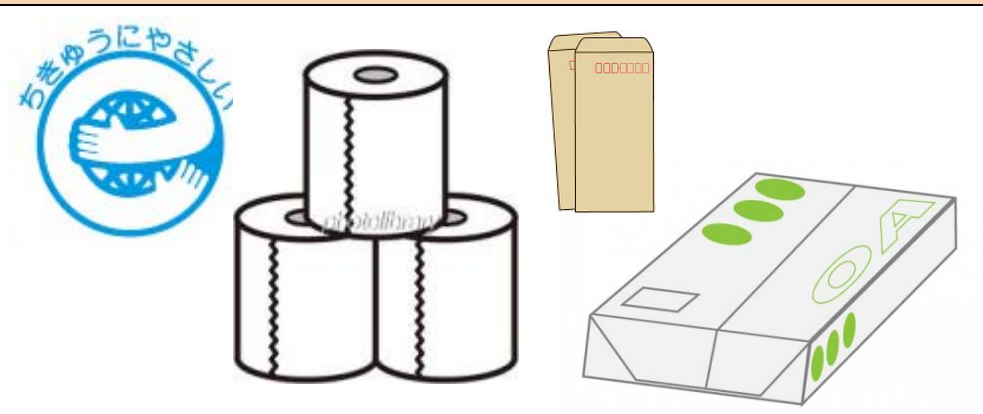
☑ 事務用品類は環境マーク付きを極力購入する

☑ 購入数に対して 31%以上を目標とする

5－6－2. 取組結果の実績

	目標	実績	数値評価
グリーン購入(%)	31	42.9	○

月別にみると達成できなかった月もありましたが、年間目標は達成できました。
決まった商品に関してはリピートできています。



5－6－3. 次年度の目標

引き続き、グリーン購入を促していきたいと思います。

5－7. 社会貢献活動

5－7－1. 活動計画

☑ 社会福祉活動　　☑ 地域のボランティア活動

5－7－2. 取組結果の実績

実施月日	活動	内容
2013.11	社会福祉活動	ペットボトルキャップ 655gを地域の小学校に届ける
2014.02	社会福祉活動	ペットボトルキャップ 800gを地域の小学校に届ける
2014.06	社会福祉活動	ペットボトルキャップ 656gを地域の小学校に届ける
2014.06	地域のボランティア活動	相模川クリーン作戦に参加

ペットボトルキャップの回収箱は定期的に満杯となるので、年3回地域の小学校に届けることができました。他にベルマーク、使用済みインクカートリッジ、書き損じハガキの回収箱も設置していますが、こちらはほとんど入りません。

相模川クリーン作戦（写真）は直前に連絡したため、参加率は前回と同様だったのが少々残念でしたが、気温が高く暑い中、協力してがんばりました。地元中学生が団体で参加していたので人数が多く、一人あたりの収集量は少なくてすみました。数少ない社内イベントなので環境委員以外にも参加してもらえるようになれば良いコミュニケーションの場になると思いました。

相模川クリーン作戦に参加

5－7－3. 次年度の目標

回収箱は来年度も引き続き設置して、社員に負担のない範囲で回収を継続していく予定です。
相模川クリーン作戦はまた参加する予定です。軍手、火バサミの貸し出しはありましたが、ゴミ袋は団体に1枚大きいものしか支給されなかったので、次回は各自準備して臨みたいと思います。

<table>
<tr><th colspan="4">5－8. 緊急事態の対策</th></tr>
<tr><td>5－8－1. 活動計画</td><td colspan="3">☑ 避難訓練の実施
☑ 通報訓練の実施
☑ 電気配線等の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="5">5－8－2. 取組結果の実績</td><td>実施月日</td><td>活動</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>2013.10</td><td>避難訓練の実施</td><td>大地震時の対応と心構え，地震発生時の避難誘導
避難具の装着の仕方は雨天のため中止</td></tr>
<tr><td>2014.04</td><td>通報訓練の実施</td><td>緊急時の１１９番通報を的確におこなう訓練</td></tr>
<tr><td>2014.01</td><td>電気配線等の確認</td><td>コンセントの使用ワット数と配線等の確認</td></tr>
<tr><td colspan="3">避難訓練は、環境委員が計画・主導して全社員が協力して遂行しました。地震発生を想定して次の訓練をおこないました。
・身の安全を確保したり、避難経路を確保してそのまま待機する
・余震が続き建物内が危険と判断する場合、屋外へ避難する
尚、今年度は雨天のため、避難具の点検と装着の訓練は中止となりました。

通報訓練は、環境委員（5名）が火災および救急の通報訓練をしました。落ち着いて現状況を的確に相手へ伝える練習を対話形式でおこないました。

電気配線等の確認は、1～4階のコンセント配置図を元に各所点検しました。
その結果、次の問題点を発見し、改善・対策をすることができました。
・複合機のコンセントの位置が外れやすい場所で、大切なデータ消去の恐れがある
・女子更衣室のコンセントに埃がたまっている
・タコ足配線に近い状態になっている→現状維持とするが今後問題があるようなら環境委員に連絡する</td></tr>
<tr><td>5－8－3. 次年度の目標</td><td colspan="3">避難訓練と通報訓練は、季節による注意点を予測しておくため、同じ時期の恒例行事とせず、毎年ひと月ずらして継続して毎年行うこととしました。</td></tr>
</table>

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用とされる環境関連法規の遵守状況を確認した結果、過去 3 年間違反はありませんでした。また、過去において近隣からの苦情、関係機関からの指摘、訴訟等もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション２１を始めて実質３年が経過した。環境委員の活動によって、やっと軌道に乗り結果が出てきたと感じる。数値評価では２ヶ所に×印があるが、大きな問題ではないと判断する。
（１ヶ所は前回も指摘した一般廃棄物排出量の目標値設定であるが、排出量が減っているにもかかわらず目標達成できていないため、目標の是正が必要である。）
一方で前回も指摘したが、キチンとまとめる事に注力するあまり、新しいものに対するチャレンジ精神に欠けていないか？また、環境委員以外の社員一人一人が環境活動への取組を理解しているだろうか？この２点を考慮して来期の計画を立ててもらいたい。

平成 26 年 10 月 17 日
株式会社 アルテックス
代表取締役 金澤哲也